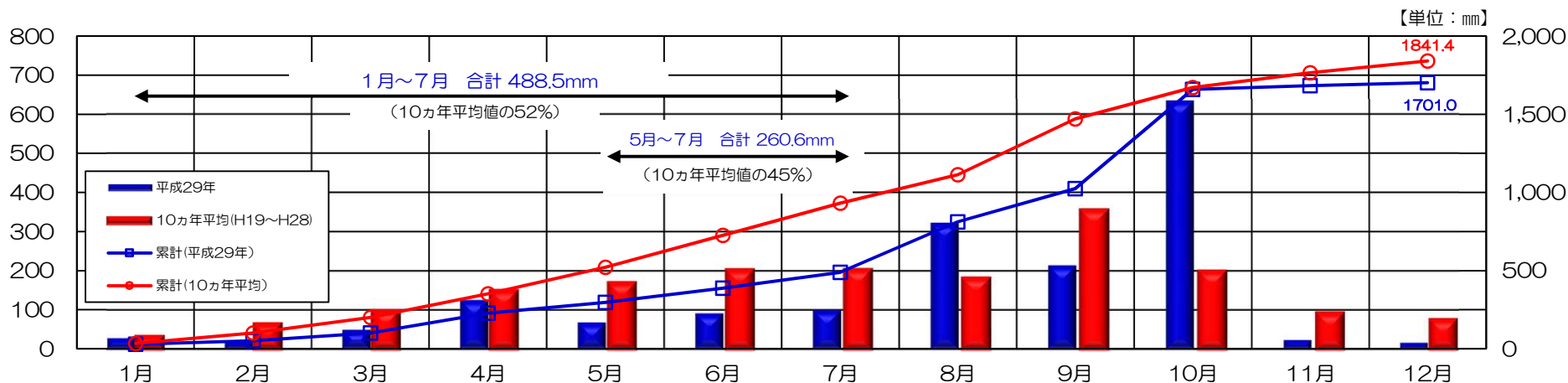
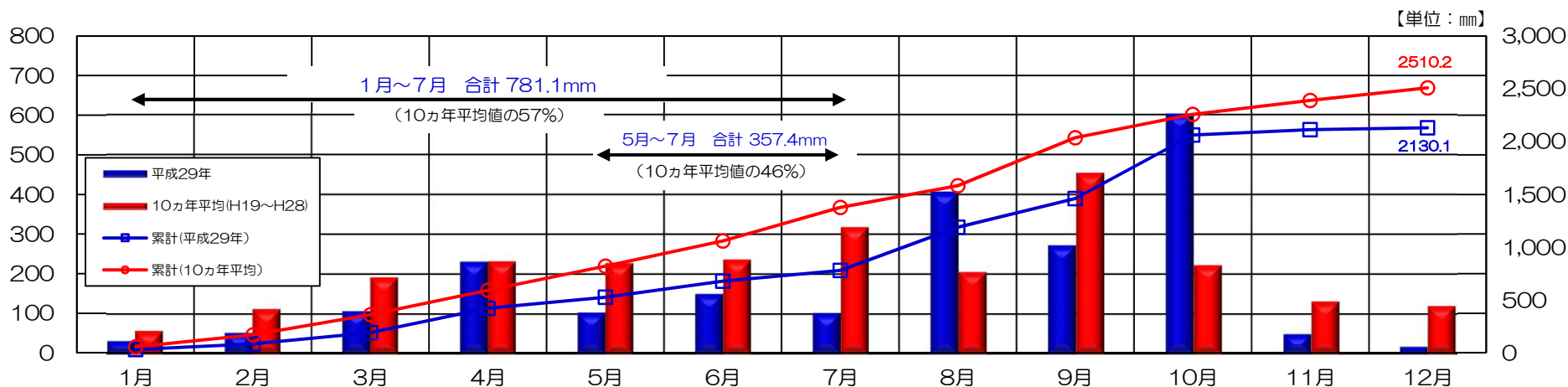


1 降水状況（城山ダム及び三保ダム上流域平均降水量）

- 城山ダム上流域の平均降水量は1月から7月までの合計が488.5mmで、10カ年平均値合計の52%でした。
- また、水利用の多い5月から7月までの合計は260.6mmで、10カ年平均値の45%でした。



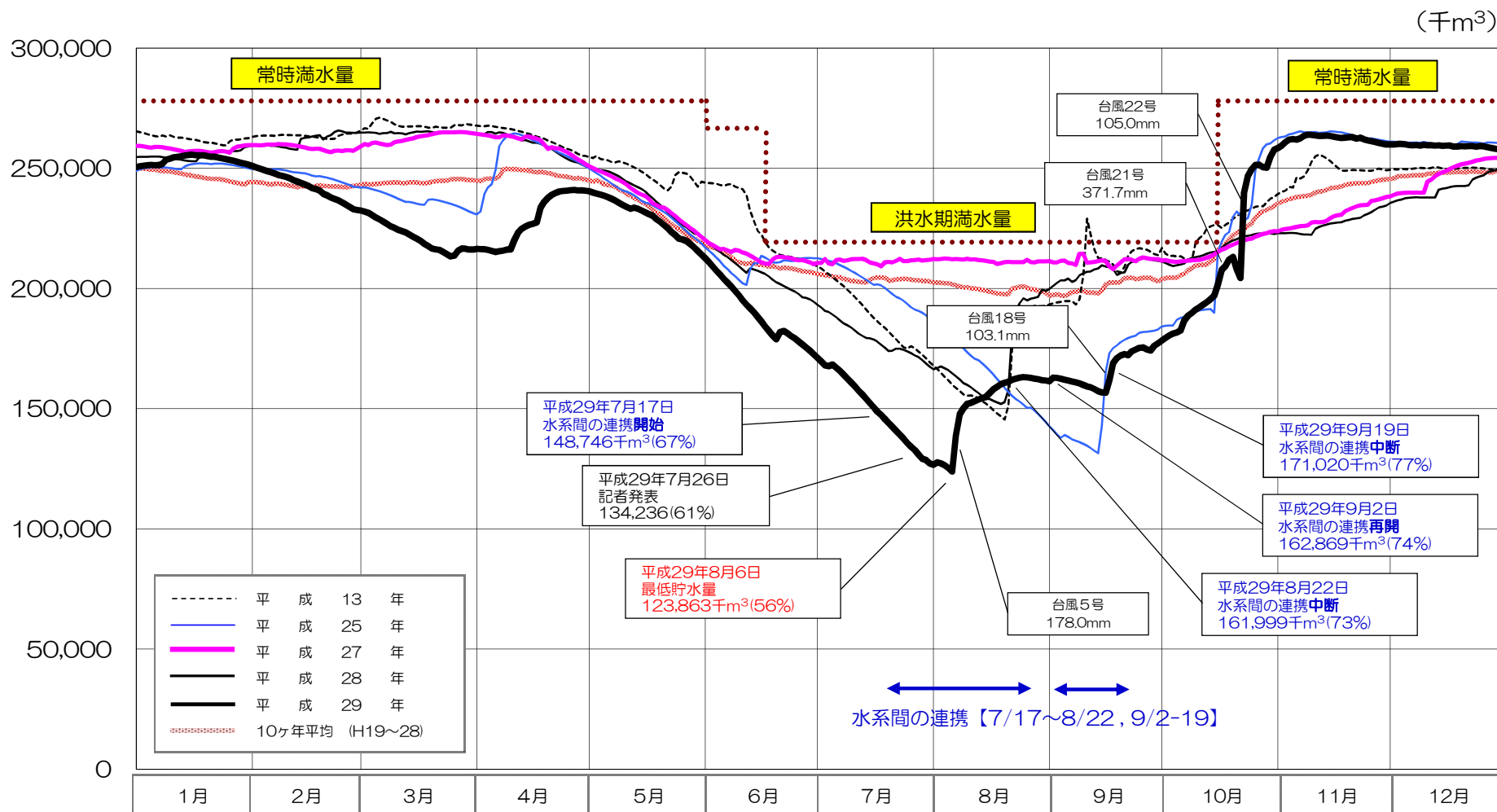
- 三保ダム上流域の平均降水量は1月から7月までの合計が781.1mmで、10カ年平均値合計の57%でした。
- また、水利用の多い5月から7月までの合計が357.4mmで、10カ年平均値の46%でした。



➤各ダムの1月から7月までの合計降水量は観測開始以来、**最少**を記録しました。また、城山ダム上流域の梅雨期間（6月7日から7月6日）の降水量についても133.2mm（10カ年平均値の41%）と過去最少となりました。その後、8月、10月の台風に伴う降雨により、年合計雨量は10カ年平均値の約9割程度となりました。

2 貯水状況（相模湖・津久井湖・宮ヶ瀬湖 3湖合計貯水量）

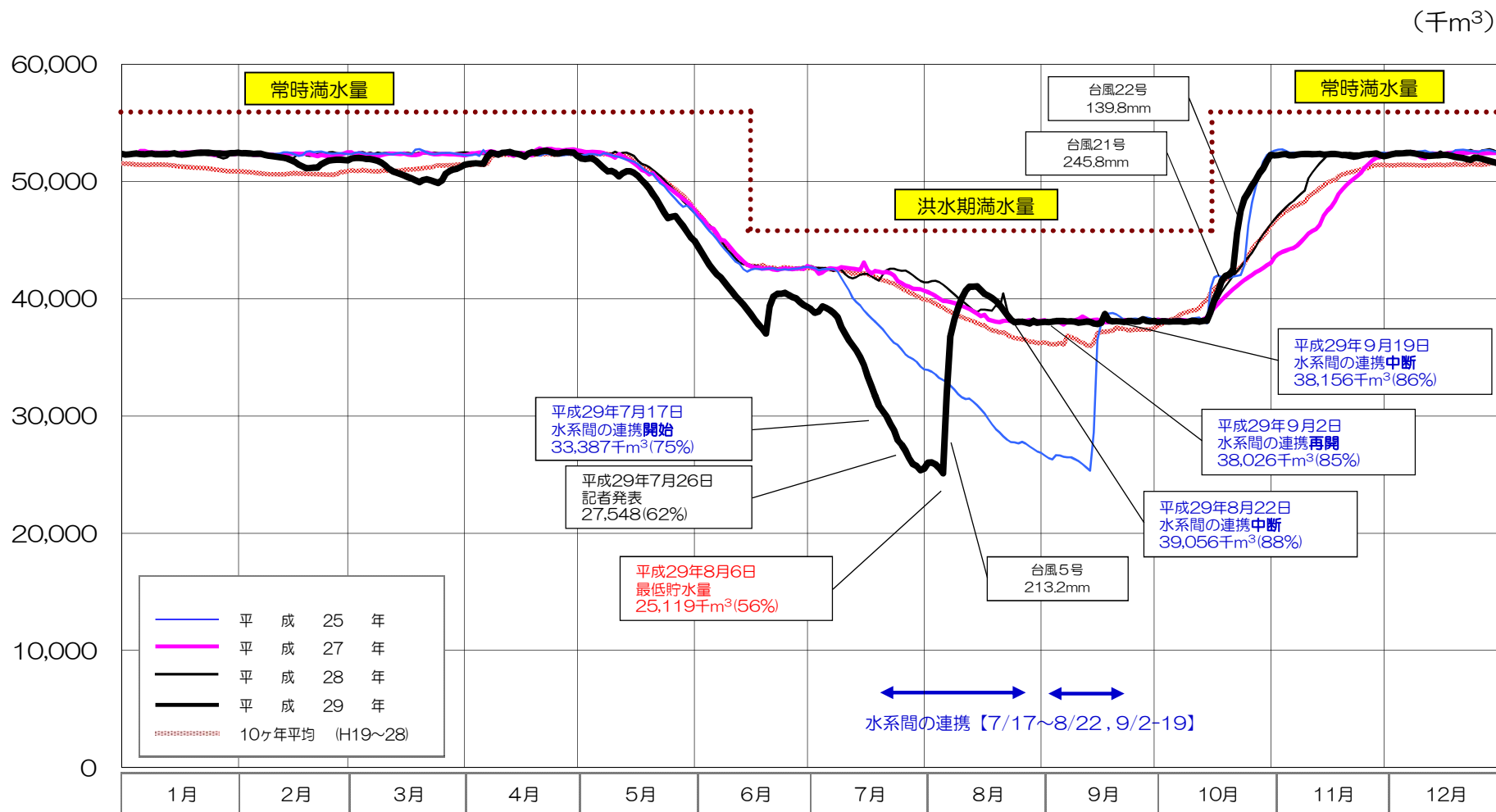
- 夏の少雨による影響から、相模川水系3湖合計貯水量は宮ヶ瀬ダムが全面運用を開始した平成13年以降、最低貯水量となりました。
- その後、10月の台風21号及び22号に伴う降雨により、10カ年平均を上回る貯水量まで回復しました。



➤このような貯水状況から、相模川水系の取水量の一部を酒匂川水系に振替える「水系間の連携」を実施し、相模川水系の貯水量を温存する運用を行いました。

3 貯水状況（丹沢湖）

- 夏の少雨による影響から、丹沢湖貯水量は25,119千m³（貯水率56%）まで低下しました。
- その後、8月の台風5号に伴う降雨により、10カ年平均を上回る貯水量まで回復しました。



➤このような貯水状況から、相模川水系の取水量の一部を酒匂川水系に振替える「水系間の連携」を実施し、酒匂川水系の取水量を増量して、相模川水系の貯水量を温存する運用を行いました。